



4 学年だより

～ Quest ～

令和2年8月28日

第17号



卒業生による進路講話 感想文 その2



8/17(月)3限に行われた卒業生講話の感想文第2弾です。



今回は、「普段の勉強は受験につながっている」「受験勉強を始める時期」「具体的な勉強方法」「大学選び・進路決定について」についてピックアップします。

<普段の勉強は受験につながっている>

- ・テスト期間しか勉強のスイッチが入っていないから、それを改善しようと思った。
- ・自分が一番なっていないなと思ったのは、毎日勉強するという習慣ができていないことだ。四者面談でも言われたことなので、まずは毎日勉強することをがんばりたい。
- ・日々の勉強が受験につながっているので気を引き締めようと思う。
- ・受験はまだ先だと思わず、今もつながっていると常に頭の中にいれながら日々生活していきたい。



<受験勉強を始める時期>

- ・受験勉強は高2の9月からでも遅い、と聞いたときは驚いた。以前、高1の秋からと聞いたことがあり、やはりそれが正しいのではないか、と思った。
- ・5年の9月からでは間に合わない、6年になり部活を引退すると抜け殻のようになる、古典は音読して体で覚えさせた、国語で記述練習をしていた、など今まで意識していなかったことを聞いた。
- ・最近受験勉強を始めた。毎日コツコツとやることの大切さを知った。面倒くさくても私は続ける。
- ・LINE以外のSNSを遮断すると聞いて私にできるかなと思っているが、今から徐々に離れて行こうと思う。

<具体的な勉強方法>

- ・ 徹底的に間違ったところを直してセンター試験は緊張しなかったという先輩がいた。がんばった分だけ自信や結果につながると思った。
- ・ 朝テストと課題と受験勉強の両立方法について疑問が生まれたので、今後機会があれば先輩に聞いてみたい。
- ・ 将来の夢は既に決まっているので迷いはない。国語は辞書ですぐにわからない言葉を調べる、数学は青チャートを解く、英語はしっかりリピートする、など勉強の習慣をつけたい。
- ・ 実際これから次の3つのこと、わからないことはすぐに調べる、英検準1級をとる、読み書きを徹底してやる、をしようと思う。
- ・ 4年のうちから受験勉強を始めようと思ったが、いざやろうとなると、何をすべきなのか悩んでいた。今回の話で教科ごとに具体的な勉強法を教えていただいたので、自分のやるべきことが見つけられて良かった。

<大学選び・進路決定について>

- ・ 推薦入試に不合格だったときの心の持ちようなど、精神的なことも聞くことができて良かった。
- ・ 自分の志望校に行けなくても、自分で決めた大学の生活を楽しんでいる先輩がいた。自分が納得できる人生を得られるようがんばりたい。
- ・ その大学の志望動機を決めることも大事だとわかった。志望分野の興味のあることをまとめたノートを作る、ということが印象に残った。
- ・ なんとなくではなく、偏差値や学びたい学問、サークル、立地などで自分が本当に行きたいと思える大学を見つけて、そこに行きたい気持ちをモチベーションにしていくと良いと思った。
- ・ 3年後の自分はどのような自分でありたいか、10年後はどのような生活をしていきたいのかをよく考えて勉強に取り組みたい。
- ・ 先輩方はみんなキラキラしていた。受験を乗り越え夢への第一歩を歩き出した先輩方が格好良かった。私も先輩方のようになりたい。

今後の立派な抱負が書いてある感想文が多かったです。よくあるのが、感想だけで終わってしまい、行動が変わらないケースです。たった1つでも、ほんの小さなことからでも良いと思います。始めること、行動することを期待しています。